

# Beat-Sonic® HVXL02 取扱説明書

NO:000001

この度はデジタルインプットインターフェースHVXL02をお買い上げいただき、ありがとうございます。取付ける前にこの取扱説明書をよく読んで正しくお使いください。

## ■本機の特徴

- ・純正モニターにHDMIでBlu-ray、スマホなどの映像を入力できます。
- ・音声は車両スピーカーからでます。
- ・HDMIの入力にiPhoneなどを接続すればYouTubeなどを映すことができます。
- ・純正ナビなどの機能はそのまま使用できます。
- ・独自の制御方法により、純正機器との切り替えがシームレスに行えます。

## ■注意事項

- ・本機のUSB端子は電源用です。通信やUSBメモリなどの再生はできません。
- ・センターコンソール内の純正AUX入力端子、USB入力端子は使えなくなります。(純正AUX入力/USB入力端子は弊社製品USB10(¥7,000税抜)に付替えて本機と接続することによりHDMI入力とUSBでの充電が可能になります。)また、外部入力アダプターなどを使用してVTRを使用している場合もVTR入力は使用できなくなります。
- ・HDMIの映像表示中のポップアップ表示は音量のみとなります。
- ・電源投入時やHDMIケーブル挿抜時などポップ音(ボツ音)がする場合がありますが、故障ではありません。
- ・ステアリングスイッチで接続機器の操作はできません。
- ・iPhoneなどを接続した場合、アプリによって別途通信パケットを消費することがあります。
- ・並行輸入のレクサスには適合しません。

## ■仕様

寸法:100mm×109mm×23mm(W×L×H) 重量:170g(本体のみ)  
USB端子:5V/2.5A(急速充電対応) HDMI端子:タイプA

## ■同梱品

HVX本体、車両接続用ハーネス、GVIFケーブル(2種類)、取扱説明書(保証書)

## ■お取り付け上の注意事項

- ※ 運転操作や車体の可動部分を妨げないように取付けること。
- ※ パイプ類、タンク、電気配線などを傷つけないこと。
- ※ 水のかかる所、湿気、ほこりの多いところに取付けないこと

- ※ このアダプターの不当な取扱いによる不具合または不当な取付けによって生じた損害につきましては、当社はその責任を負いかねますので、ご装着の際はあらかじめご了解ください。

## ⚠️ 取付作業を行う前のご注意

- ※ 車体の板金部近くを通るコードには、保護テープを巻いてください。
- ※ 取付後、ブレーキランプ、ヘッドライト、ウインカー、ワイパーが正常に動作することを確認してください。

- ※ 作業を行う前に必ず、純正デッキの動作確認を行ってから取付作業を開始してください。(純正デッキが正常に動作しない場合は、本機を取付けても正常に動作しません。)

お客様相談室 (0561)75-1655 / (0561)74-5592

Beat-Sonic® 〒470-0112 愛知県日進市藤枝町こうしん472-5  
www.beatsonic.co.jp

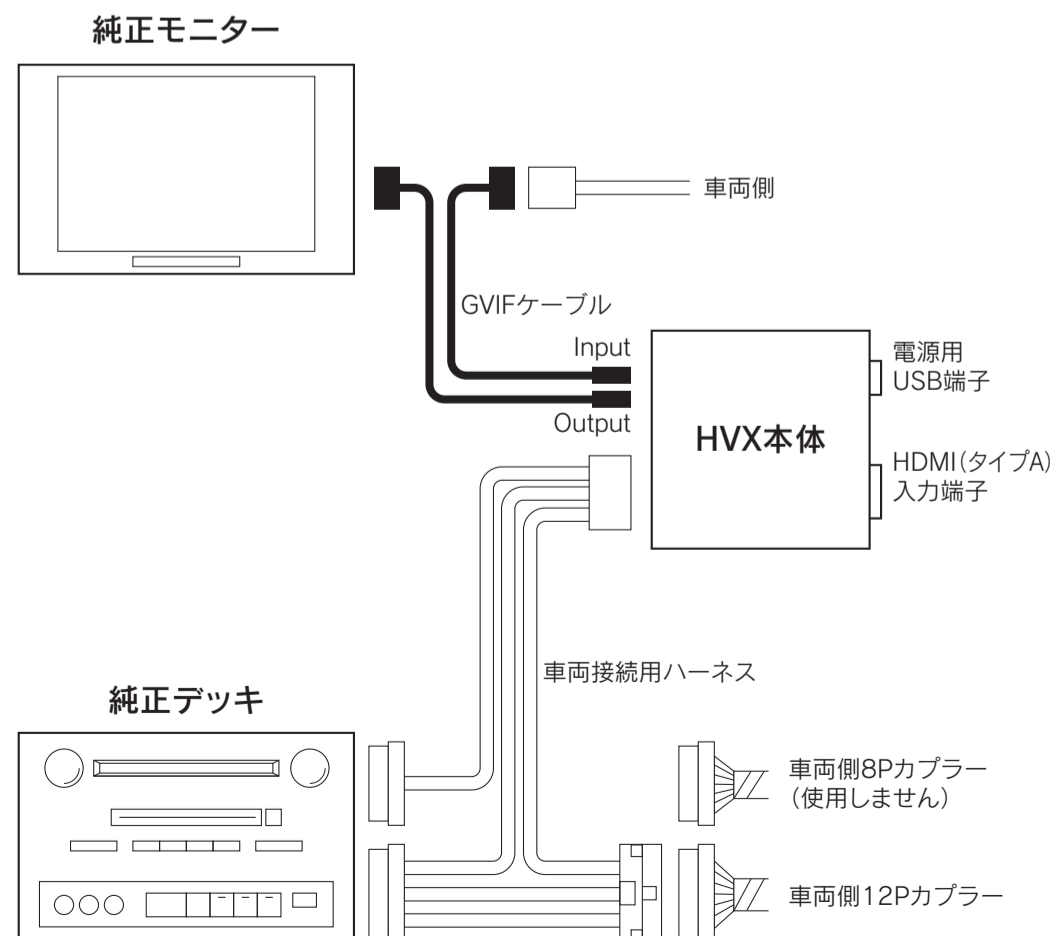


純正デッキ/モニターの取外し方法は左記QRコードから確認してください。

URL: [http://www.beatsonic.co.jp/qr/?page=hvx\\_t](http://www.beatsonic.co.jp/qr/?page=hvx_t)

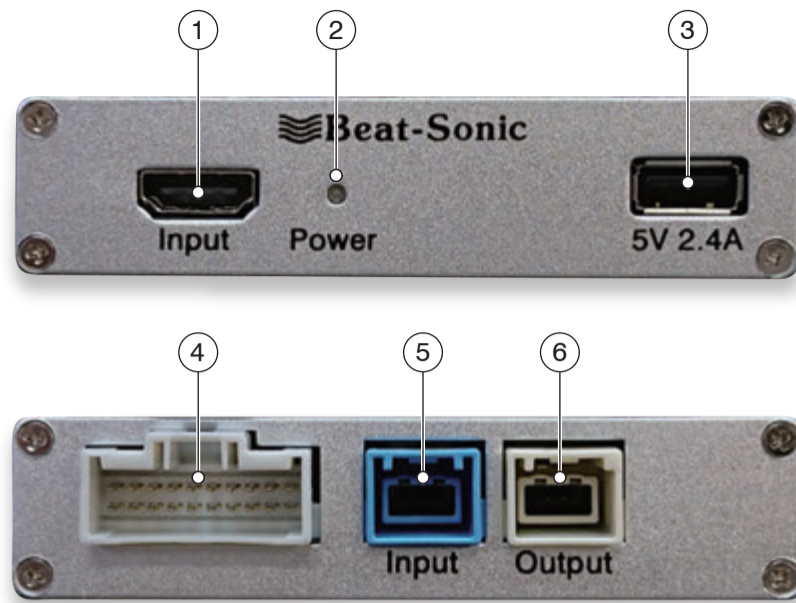
## ② HVXの取付け

1. 純正モニターのGVIFケーブルを抜き、製品のGVIFケーブルを間に割り込ませるように取付けます。(同色のケーブルを接続します。)
2. 純正デッキの8ピンケーブルを抜き製品付属の8ピンケーブルを取付けてください。取外した純正8ピンケーブルは使用しません。
3. 純正デッキの12ピンケーブルを抜き、製品の12ピンケーブルを間に割り込ませるように取付けます。



※HVX本体のUSB端子は電源用です。通信やUSBメモリなどの再生はできません。

## ① 各部の名称



### 1. HDMI入力

HDMI出力のある機器に接続します。ここに接続した機器の映像を見ることができます。

### 2. インジケータ

本機の状態を示します。通常動作時は緑に点灯します。

### 3. USB電源

接続機器に電源を供給します。機器自動判定で2.4Aまでの急速充電に対応します。通信は行えませんがUSBメモリなどを接続しても音楽や動画の再生はできません。

### 4. ハーネス接続ケーブル

同梱の車両接続用ハーネスを接続します。

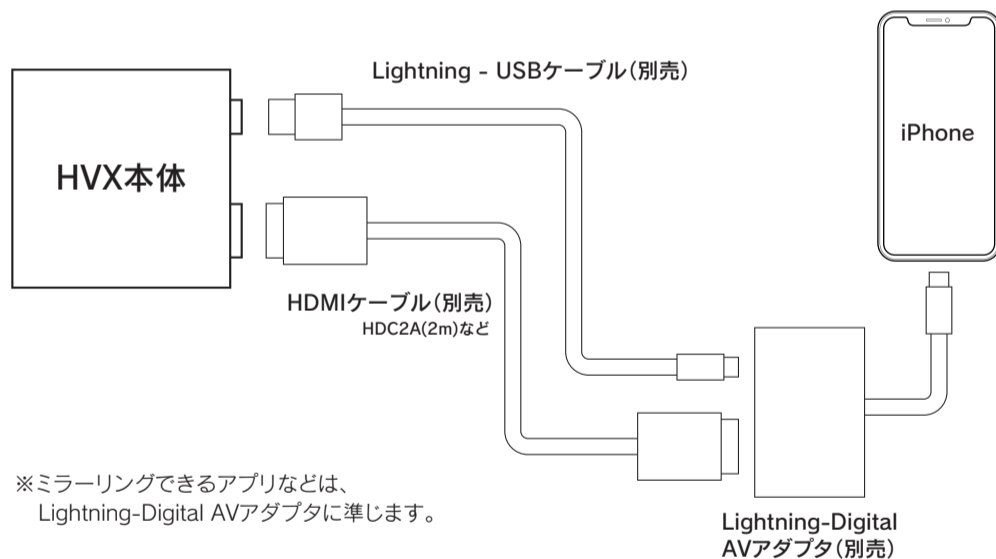
### 5. GVIF入力

同梱のケーブルを使用して車両側ケーブルに接続します。同じ色のケーブルを接続します。

### 6. GVIF出力

同梱のケーブルを使用してモニター側ケーブルに接続します。同じ色のケーブルを接続します。

## ③ 接続例 (iPhoneミラーリングの場合)



※ミラーリングできるアプリなどは、Lightning-Digital AVアダプタに準じます。

## ④ HDMI入力の切替え、画質調整方法

### 【切替え方法】



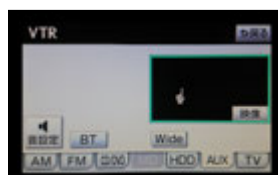
#### 1. スタートメニュー

純正デッキのHDD/AUXボタンを押します。スタートメニューからの場合はオーディオを押します。



#### 2. VTR選択画面

AUXのモードになったらVTRになるように操作します。すでにVTRモードになっていればそのままにしてください。



#### 3. 全画面

映像が全画面になっていない場合は、「映像」ボタンを押します。

### 【画質調整方法】

※HVX表示中は映像調整の画面は表示されません。調整方法: HDMI端子を抜く→黒画面状態で「画質・消/ DISP」ボタンを押す→画質を調整→「完了」を押す→HDMI端子を接続する(年式などにより操作方法は異なる場合があります。)

# 5 HDMIについて

## 【対応できるHDMIの解像度】

| フォーマット名 | 解像度       | アスペクト比 | リフレッシュレート             |
|---------|-----------|--------|-----------------------|
| 1080p   | 1920×1080 | 16 : 9 | 60Hz / 59.94Hz / 50Hz |
| 1080i   | 1920×1080 | 16 : 9 | 60Hz / 59.94Hz / 50Hz |
| 720p    | 1280×720  | 16 : 9 | 60Hz / 59.94Hz / 50Hz |
| 576p    | 720×576   | 16 : 9 | 50Hz                  |
| 480p    | 720×480   | 16 : 9 | 60Hz / 59.94Hz        |

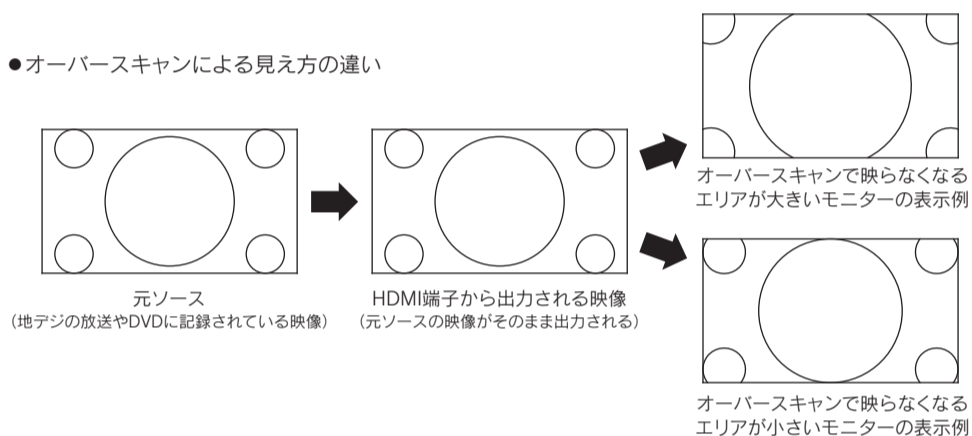
## 【表示エリアについて】

本製品のオーバースキャンは95%で設計しております。  
 ソース機器のオーバースキャンが95%より大きい場合や、アンダースキャン信号を入力した場合は、画面の端の映像が切れて表示されます。  
 また、95%より小さい場合は、画面の端に黒枠などが表示される場合があります。  
 ソース側の機器にオーバースキャンの設定が有る場合は、オーバースキャン95%に設定してください。

### オーバースキャンとは

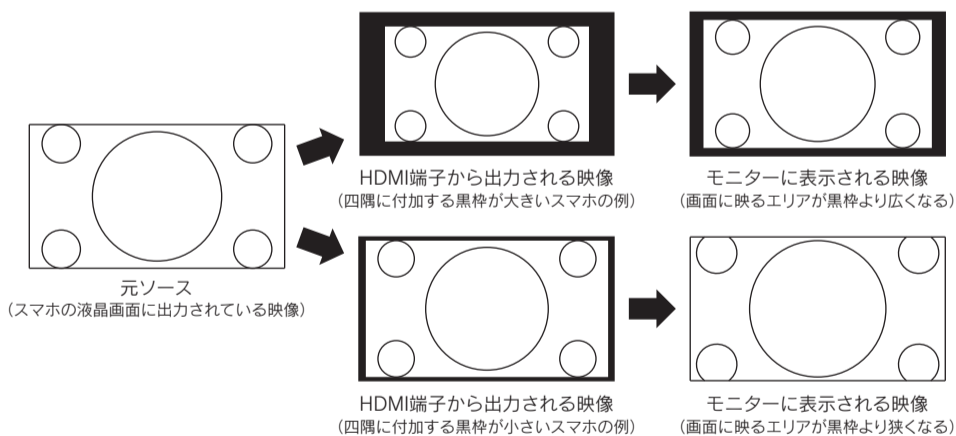
一般のテレビモニターでは、画面の隅の歪みやノイズを隠す為に、画面の四隅をカットして表示しないように設計されており、これをオーバースキャンと呼びます。  
 映画やテレビ放送などの映像ソースは、オーバースキャンで四隅がカットされることを想定し、オーバースキャンでカットされる危険性のある部分には字幕などの重要な情報を配置しないようにしており、重要な情報配置してもよい範囲を「セーフティゾーン」と呼んでいます。

#### ●オーバースキャンによる見え方の違い

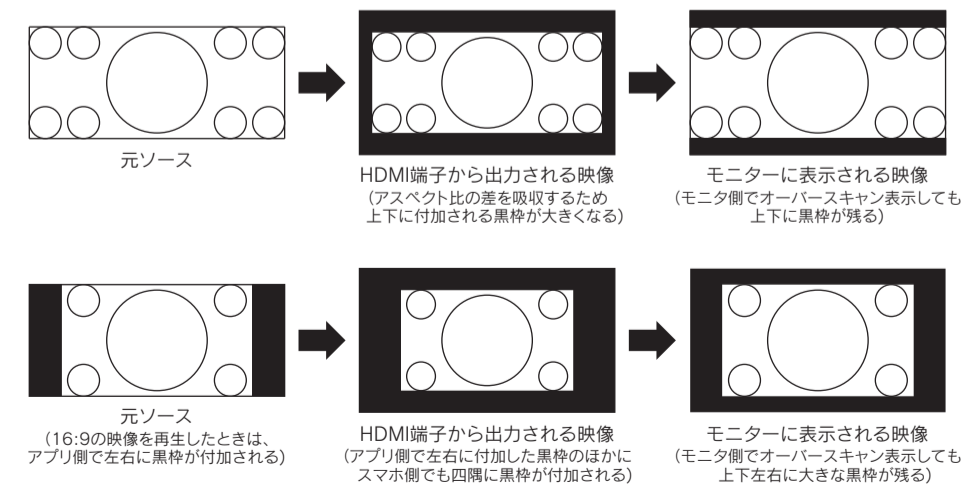


一方で、スマホなどの、画面の四隅をカットしてほしくない映像ソースでは、四隅に黒枠を付け加えて出力しています。  
 しかしながら、実際にオーバースキャンでカットされるエリアはモニターによって違いがあるため、ソース機器側で付け加えられる黒枠がモニター側でカットされるエリアより大きい場合は画面の四隅に黒枠が表示され、小さい場合は画面の四隅が多少切れてしまいます。

#### ●スマホが付加する黒枠の大きさによる見え方の違い



#### ●iPhoneX(2:1)などの、16:9よりも長いスマホを接続したときの見え方

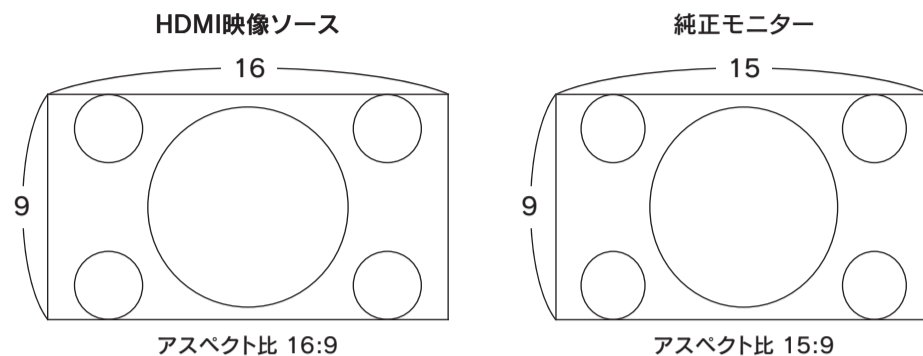


## 【画面の縦横比について】

純正モニターのアスペクト比が15:9のため、16:9の映像ソースを入力した場合は若干縦長に表示されます。

### アスペクト比(画面比率)とは

アスペクト比とは縦と横の比率のことで、ここでは画面の縦と横のサイズの比率のことをアスペクト比と呼びます。  
 アスペクト比には、16:9や4:3のほか、パソコンなどに使われる16:10や、シネマスコープと呼ばれる2.35:1など、これ以外にも多くの種類が存在します。  
 このうち、地デジ放送やDVDでは、16:9のアスペクト比が一般的に使われています。  
 一方、レクサスRX,HS,CTの純正モニターは15:9のアスペクト比を採用しています。  
 本製品では、16:9の映像ソースを15:9のモニターに表示させるため、若干縦長の表示になるようにしています。



## 【マニュアルで解像度を設定する場合】

パソコンなどのDVI機器に接続する場合は、画面の設定が必要になります。  
 パソコンのビデオカードドライバにマニュアル解像度の設定があれば、下記のように設定してください。

|            | 水平         | 垂直      |
|------------|------------|---------|
| アクティブピクセル数 | 800 [CLK]  | 480 [H] |
| フロントポーチ    | 40 [CLK]   | 4 [H]   |
| 同期幅        | 128 [CLK]  | 1 [H]   |
| バックポーチ     | 88 [CLK]   | 40 [H]  |
| リフレッシュレート  | 31.5 [kHz] | 60 [Hz] |

ピクセルクロック 33.3333 [MHz]

マニュアル解像度の設定がない場合は、画面の四隅がカットされる場合があります。  
 この場合、ビデオドライバーのオーバースキャンの設定を調整することにより改善できることがあります。

●HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface およびHDMIロゴは、HDMI Licensing LLC の商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。  
 ●iPad、iPhoneは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。  
 ●「YouTube」は、Google LLCの商標または登録商標です。